



第89期 中間報告書

平成20年4月1日>>>平成20年9月30日



科研製薬株式会社

証券コード 4521



一人でも多くの方に
笑顔を取りもどしていただくために
優れた医薬品の提供を通じて
患者さんのクオリティ・オブ・ライフの
向上につとめる。

—— 企業理念 ——

科研製薬
3つのよろこび

「患者さんのよろこび」

患者さんと医療従事者の
ニーズに即した、有用な医薬品の
創製・提供に努める。

「企業のよろこび」

医薬品企業としての社会的責任を自覚し、
誠、倫理観をもって企業活動を行い、
社会から信頼される企業をめざす。

「社員のよろこび」

社員がその仕事に喜びと誇りを持ち、
活力あふれる存在感のある
企業をめざす。

—— 経営理念 ——

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご健勝のことと心よりお慶び申し上げます。

平素は格別のご支援ご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、第89期上半期（平成20年4月1日から平成20年9月30日まで）の事業概況をご報告するにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当社は、医療費抑制策が一段と進展する厳しい状況の中で、中堅製薬企業として変化に柔軟に対応した経営を推進し、有用な医薬品の提供に努めております。

当上半期は、関節機能改善剤「アルツ」が高齢化による市場の拡大もあり増収となるなど、主力製品が伸長し、後発医薬品も売上げを拡大したため、業績は計画を上回る水準を確保いたしました。既に公表しましたとおり通期の業績・配当予想を上方修正しております。

研究開発面につきましては、資源の集中と効率化により、研究開発のパイプラインの充実と研究開発の迅速化に積極的に取り組んでおります。歯周病治療剤はフェーズⅢ試験を開始しました。早期の製品化により、少しでも早く患者さんの健康への願いに応えたいと考えております。

株主の皆様への利益配分につきましては、株主還元と自己資本充実のバランスに配慮しながら業績水準に応じた柔軟な配当政策をとっております。中間配当は、前年同期より3円増配し1株当たり13円とさせていただきます。期末配当は通期予想利益を勘案、3円増配し1株当

り13円として、年間配当は1株当たり26円とする予定であります。年間配当26円は、前期に比べ6円の増配となり、7期連続の増配となります。自己株式につきましては、保有していた1,300万株を消却いたしました。また本年度も引き続き自己株式取得を継続しております。

当社は、独立して存在感のある企業を目指し更に高い経営目標に向い歩みを続け、株主の皆様をはじめ、すべてのステークホルダーの信頼と期待に応えてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともご支援を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

平成20年12月



代表取締役社長 乾 四朗

事業の概況 (平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)

■ 事業の経過及び成果

業績の概況

医薬品業界を取り巻く環境は、後発医薬品の使用促進などの医療費抑制策が浸透する中で、本年4月には薬価改定が実施され、引き続き厳しい状況にあります。

このような状況の下、当社は医療現場のニーズに即した付加価値の高い情報提供活動による地域密着型の営業展開に努めてまいりました。

その結果、当上半期（第2四半期連結累計期間）の業績は、売上高41,103百万円（前年同期比4.0%増）となりました。利益面につきましては、売上げが伸長したことにより、薬価改定の影響を吸収し、また、販売費及び一般管理費が前年同期に比べて減少したことにより、営業利益は5,941百万円（前年同期比11.3%増）、経常利益は5,796百万円（前年同期比13.8%増）となりました。特別損益も改善され、その結果、四半期純利益は3,410百万円（前年同期比20.8%増）となりました。

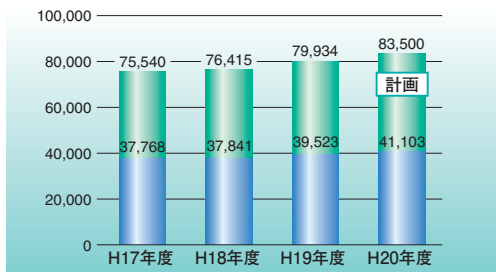
● 薬業

医薬品につきましては、主力品の関節機能改善剤「アルツ」が引き続き売上げを伸ばし、医療機器の癒着防止吸収性バリア「セプラフィルム」も伸長しました。創傷治癒促進剤「フィブラストスプレー」、高脂血症治療剤「リピディル」、後発医薬品も売上げを伸ばしましたが、慢性動脈閉塞症治療剤「プロサイリン」、鎮痛消炎貼付剤「アドフィード等」は減収となりました。

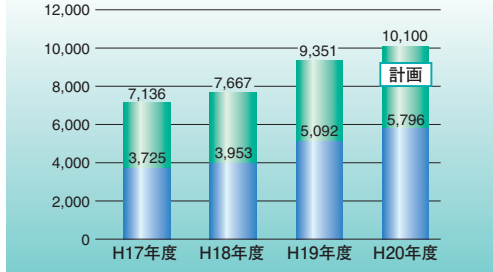
農業薬品につきましては、果樹・野菜・芝用殺菌剤「ポリオキシン」、水稲用除草剤「ペントキサゾン」は増収となりましたが、飼料添加物「サリノマイシン」、「コリスチン」は減収となりました。

その結果、売上高は39,866百万円（前年同期比4.0%増）、営業利益は5,204百万円（前年同期比11.9%増）となりました。

売上高 通期 上半期 (百万円)



経常利益 通期 上半期 (百万円)



●不動産事業

文京グリーンコートの地代が主たる収入である不動産事業につきましては、文京グリーンコート内にスポーツ施設が完成したことにより増収となりました。

その結果、売上高は1,236百万円（前年同期比3.8%増）、営業利益は737百万円（前年同期比6.9%増）となりました。

■研究開発

医薬品を中心に農薬、動物薬などの基礎的研究、臨床試験等の研究開発を行っております。

臨床開発段階のものとしまして、歯周病治療剤はフェーズⅢ試験を実施中であります。

帯状疱疹後神経痛治療剤は追加フェーズⅡ試験を終了し、検討の結果、帝國製薬株式会社との共同開発契約を終了することといたしました。

骨折治癒促進剤及び下垂体性低身長症治療剤につきましてはフェーズⅡ試験を継続実施中であります。

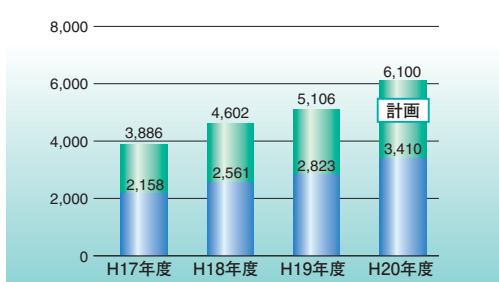
アレルギー性鼻炎治療剤はフェーズⅠ試験を継続実施中です。

爪白癬治療剤は国内においてフェーズⅠ試験を準備中です。なお、海外における導出先である米国のダウ・ファーマシューティカル・サイエンシズ社がフェーズⅡ試験を実施中です。また、アトピー性皮膚炎治療剤については海外での臨床開発を準備中です。

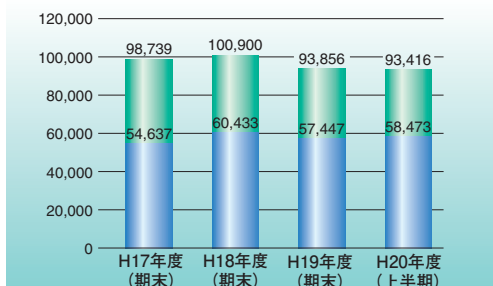
ベラプロストナトリウム徐放製剤は、腰部脊柱管狭窄症の適応追加に向けて、東レ株式会社と共同で治験準備中であります。

農業薬品につきましては、水稻用除草剤ペントキサゾン3製剤の適用拡大登録を完了しました。また、殺菌剤ポリオキシンは混合剤の適用拡大を取得し、海外ではメキシコにおいて新規登録を取得いたしました。環境に配慮した新規微生物農薬は、平成21年1月の申請を目指して登録申請用の安全性試験を実施中です。

四半期純利益 (百万円)



総資産及び純資産 (百万円)



売上高・経常利益・四半期純利益のグラフにおける上半期とは、第2四半期連結累計期間の数値を掲載し、総資産及び純資産については、第2四半期連結会計期間末の数値を掲載しております。

四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表 ※1

(単位:百万円)

科目	当第2四半期末 平成20年9月30日現在	前中間期 平成19年9月30日現在
【資産の部】		
流動資産	53,269	58,243
現金及び預金	8,303	10,404
受取手形及び売掛金	27,254	33,537
有価証券	4,598	1,998
たな卸資産	9,990	9,614
繰延税金資産	1,202	1,036
その他	1,927	1,659
貸倒引当金	△7	△8
固定資産	40,147	41,562
有形固定資産	25,416	25,061
建物及び構築物	18,473	18,166
土地	3,762	3,362
その他	3,180	3,532
無形固定資産	473	486
投資その他の資産	14,257	16,013
投資有価証券	6,556	9,505
繰延税金資産	4,713	3,642
その他	2,989	2,866
貸倒引当金	△0	△0
資産合計	93,416	99,806
【負債の部】		
流動負債	28,568	32,753
支払手形及び買掛金	12,712	15,029
短期借入金	7,210	5,380
1年以内返済予定長期借入金	—	3,000
未払金	3,031	4,679
未払法人税等	2,471	1,884
繰延税金負債	0	0
賞与引当金	1,112	1,097
その他	2,030	1,680
固定負債	6,374	5,946
繰延税金負債	210	216
退職給付引当金	5,398	5,048
その他	765	681
負債合計	34,942	38,699
【純資産の部】		
株主資本	58,156	59,134
資本金	23,853	23,853
資本剰余金	11,587	22,728
利益剰余金	23,838	20,221
自己株式	△1,123	△7,669
評価・換算差額等	317	1,972
その他有価証券評価差額金	327	1,972
繰延ヘッジ損益	△10	△0
純資産合計	58,473	61,106
負債及び純資産合計	93,416	99,806

四半期連結損益計算書 ※1

(単位:百万円)

科目	当第2四半期累計 自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日	前中間期 自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日
売上高	41,103	39,523
売上原価	21,053	19,950
返品調整引当金戻入額	—	5
返品調整引当金繰入額	4	—
売上総利益	20,045	19,578
販売費及び一般管理費	14,103	14,238
営業利益	5,941	5,339
営業外収益	210	151
営業外費用	355	398
経常利益	5,796	5,092
特別利益	33	496
特別損失	69	873
税金等調整前四半期純利益	5,760	4,715
法人税等	2,349	1,892
四半期純利益	3,410	2,823

四半期連結キャッシュ・フロー計算書 ※1

(単位:百万円)

科目	当第2四半期累計 自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日	前中間期 自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,907	3,606
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,564	△313
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,827	△2,803
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額	515	489
現金及び現金同等物の期首残高	12,386	11,914
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,902	12,403

子会社の状況

科研不動産サービス株式会社、科研ファルマ株式会社、株式会社フジカの3社があります。

四半期財務諸表

四半期貸借対照表 ※1 ※2

(単位:百万円)

科目	当第2四半期末 平成20年9月30日現在	前中間期 平成19年9月30日現在
【資産の部】		
流動資産	52,433	57,457
現金及び預金	7,766	9,893
受取手形及び売掛金	26,792	33,070
有価証券	4,598	1,998
たな卸資産	9,886	9,533
繰延税金資産	1,187	1,025
その他	2,204	1,938
貸倒引当金	△2	△3
固定資産	43,768	45,377
有形固定資産	23,762	23,330
建物	16,442	16,133
土地	3,655	3,256
その他	3,664	3,940
無形固定資産	469	480
投資その他の資産	19,536	21,566
投資有価証券	6,554	9,503
繰延税金資産	2,143	1,072
その他	10,840	10,992
貸倒引当金	△1	△1
資産合計	96,201	102,834
【負債の部】		
流動負債	27,886	32,025
支払手形及び買掛金	12,255	14,529
短期借入金	7,210	5,380
1年以内返済予定長期借入金	—	3,000
未払金	3,037	4,682
未払法人税等	2,355	1,779
賞与引当金	1,110	1,095
その他	1,918	1,558
固定負債	6,158	5,727
退職給付引当金	5,394	5,045
その他	764	681
負債合計	34,045	37,752
【純資産の部】		
株主資本	61,838	63,109
資本金	23,853	23,853
資本剰余金	11,587	22,728
利益剰余金	27,520	24,196
自己株式	△1,123	△7,669
評価・換算差額等	317	1,972
その他有価証券評価差額金	327	1,972
繰延ヘッジ損益	△10	△0
純資産合計	62,155	65,081
負債及び純資産合計	96,201	102,834

四半期損益計算書 ※1 ※2

(単位:百万円)

科目	当第2四半期累計 自平成20年4月1日 至平成20年9月30日	前中間期 自平成19年4月1日 至平成19年9月30日
売上高	40,107	38,591
売上原価	20,509	19,456
返品調整引当金戻入額	—	5
返品調整引当金繰入額	4	—
売上総利益	19,593	19,140
販売費及び一般管理費	13,976	14,115
営業利益	5,616	5,024
営業外収益	268	213
営業外費用	355	398
経常利益	5,529	4,839
特別利益	33	496
特別損失	63	873
税引前四半期純利益	5,499	4,462
法人税等	2,239	1,787
四半期純利益	3,259	2,674

自己株式の状況

平成20年3月31日現在の自己株式数	13,564,112株
当第2四半期累計期間における取得自己株式数	610,000株
当第2四半期累計期間における買取単元未満株式数	100,192株
当第2四半期累計期間における買増単元未満株式数	△19,970株
当第2四半期累計期間における自己株式消却数	△13,000,000株
合計	1,254,334株

- ※ 1. 当期から金融商品取引法に基づき四半期開示制度が導入されており、これに伴い、前年と会計基準が異なっておりますが、数値比較のためご参考として前中間期の財務情報を掲載しております。
- ※ 2. 四半期財務諸表につきましては、法定開示におけるレビュー対象ではありません。

Topics

◆ 経皮吸収型鎮痛消炎貼付剤「アドフィードパップ80mg」を発売

経皮吸収型鎮痛消炎貼付剤「アドフィードパップ40mg」の規格追加品として、大判サイズの「アドフィードパップ80mg」を発売いたしました。「アドフィードパップ80mg」は「アドフィードパップ40mg」の2倍の大きさで、より広く患部を覆うことができます。

これからも患者さんのニーズにお応えし、より良い製品を提供していくことで、疼痛・炎症治療に貢献できるよう努力してまいります。



◆ 自己株式を消却

本年8月29日に当社保有の自己株式のうち1,300万株を消却いたしました。

消却後の発行済株式総数は101,879,461株となりました。

◆ 文京グリーンコートに、スポーツ施設が完成

当社本駒込整備計画の一環として建設が進められておりました文京グリーンコートスポーツ施設が完成し、株式会社東急スポーツオアシスの運営の下、本年5月に営業を開始いたしました。

当スポーツ施設は、周辺住民の皆様に健康増進の場を提供できるものと考えております。

株式の状況 (平成20年9月30日現在)

発行可能株式総数

360,000,000株

発行済株式の総数

101,879,461株

株 主 数

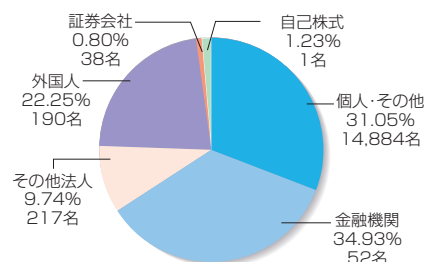
15,382名

大株主（上位10名）

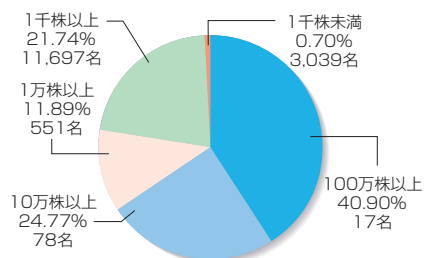
株 主 名	持 株 数 千株	出 資 比 率 %
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5,433	5.40
ソニー生命保険株式会社	4,916	4.89
東レ株式会社	4,589	4.56
株式会社みずほ銀行	4,086	4.06
農林中央金庫	3,686	3.66
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G)	2,715	2.70
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,623	2.61
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー 505019	1,992	1.98
日本生命保険相互会社	1,700	1.69
科研製薬従業員持株会	1,592	1.58

(注) 出資比率は、発行済株式総数から自己株式(1,254,334株)を除いて計算をしております。

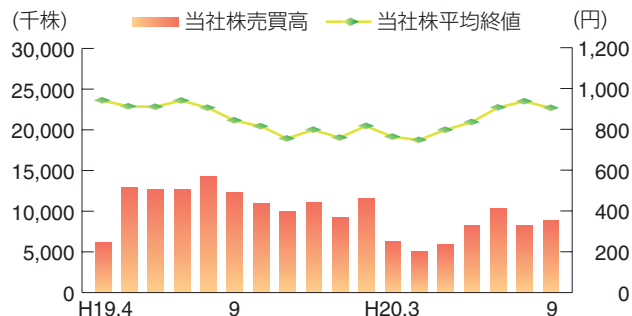
所有者別分布



所有株式数別分布



株価の推移



会社の概要 (平成20年9月30日現在)

会社名	科研製薬株式会社
英文会社名	KAKEN PHARMACEUTICAL CO.,LTD.
資本金	23,853百万円
創業	1948 (昭和23) 年3月1日
主要な事業内容	医薬品、医薬部外品、医療機器、動物用医薬品、 農業薬品、飼料添加物の製造販売及び不動産の賃貸
従業員数	1,748名 (連結)
主要な事業所	本社 東京都文京区本駒込二丁目28番8号 支店 北海道札幌市、宮城県仙台市、 東京都豊島区、愛知県名古屋市、 大阪府大阪市、広島県広島市、 福岡県福岡市 営業所 全国66ヶ所 研究所 京都府京都市、静岡県藤枝市 工場 静岡県藤枝市



文京グリーンコート

取締役・監査役及び執行役員

代表取締役社長	乾 四朗
常務取締役	平原 猛
常務取締役	古本 修次
常務取締役	矢嶋 基之
常務取締役	大沼 哲夫
取締役	石田 雅朗
取締役	遠藤 孝雄
取締役	小島 進
常勤監査役	齊藤 武司
常勤監査役	星井 文雄
監査役	吉澤 壽美雄
監査役	根本 圭造
執行役員	赤塚 善一
執行役員	田村 誠夫
執行役員	村山 和夫
執行役員	中島 敏夫
執行役員	浅見 秀一
執行役員	高橋 健介
執行役員	小南 一實
執行役員	仲内 莊八
執行役員	長田 均

特別口座について

証券保管振替機構（ほふり）をご利用でない株主様につきましては、ご所有の株式は当社株主名簿管理人であります中央三井信託銀行に開設される特別口座に記録されます（平成21年1月26日に記録される予定です）。

特別口座の口座管理機関及び連絡先

口座管理機関	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
連絡先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 フリーダイヤル 0120-78-2031

株券電子化後の請求手続きのお申出先について

1. 未払い配当金の支払のお申出先

これまでどおり、株主名簿管理人（中央三井信託銀行）にお申出ください。

2. 住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金受取方法の指定等のお申出先

(1) 証券保管振替機構（ほふり）に株券を預けられている株主様

お取引証券会社等でお取扱いいたします。

(2) 証券保管振替機構（ほふり）に株券を預けられていない株主様

特別口座を開設する口座管理機関（中央三井信託銀行）でお取扱いいたします（証券会社等のご本人様口座への振替請求を含めた各種ご請求を含めまして、お申出につきましては、平成21年1月26日以降にお手続きが可能となりますので、ご留意ください）。

株券電子化前後における単元未満株式買取・買増のご請求について

1. 証券保管振替機構（ほふり）をご利用でない単元未満株式に関するご請求

(1) 単元未満株式買取請求

平成21年1月5日（月）から平成21年1月25日（日）までは、受付をいたしません。

また、平成20年12月25日（木）から12月30日（火）までのご請求受付分につきましては、買取代金のお支払いを平成21年1月26日（月）とさせていただきます（買取価格はご請求受付日の終値となります。なお平成20年12月30日までに値がつかない場合は返却させていただきます。）。

(2) 単元未満株式買増請求

平成20年12月12日（金）から平成21年1月25日（日）までは、受付をいたしません。

2. 証券保管振替機構（ほふり）をご利用の単元未満株式に関するご請求

株券電子化実施の前後において、一定期間お取引の証券会社で取次ぎを行わないと承っております。具体的な日程につきましては、証券会社により異なることが考えられますので、お取引の証券会社にお問い合わせください。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	毎年3月31日（その他必要があるときは公告いたします。）
配当の基準日	期末配当基準日 3月31日 中間配当基準日 9月30日
単元株式数	1,000株
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱所	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部
同取次所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店及び全国各支店
公告方法	電子公告により当社ウェブサイト (http://www.kaken.co.jp/) に掲載いたします。なお、やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

お知らせ

単元未満株式について

単元未満株式（1,000株未満の株式）をご所有の株主様は、1単元（1,000株）に不足する数の株式を当社から買増し、単元株とすることができます。また、ご所有の単元未満株式の時価での買取りを、当社にご請求することもできます。詳細は、株主名簿管理人の下記フリーダイヤルまでお問い合わせください。

フリーダイヤル 0120 (78) 2031

住所変更等諸届用紙ご請求

住所変更、単元未満株式買取請求、名義書換請求、配当金振込指定書等のお手続き用紙のご請求は、株主名簿管理人の下記フリーダイヤルまたはホームページをご利用ください。

自動音声案内 フリーダイヤル 0120 (87) 2031 (24時間受付)

ホームページ http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html